

発達症特性 (生まれながらの症状) 【学習面】		該当するものに○			
観点		3	2	1	0
		よくある	ややある	たまにある	ほとんどない
聞く	聞き間違いがある。(「知った」を「行った」と聞き違えるなど)	3	2	1	0
	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。	3	2	1	0
	指示したことの内容理解が難しい。	3	2	1	0
	話し合いが難しい。(話し合いの流れが理解できず、ついていけない。)	3	2	1	0
話す	適切な速さで話すことが難しい。(たどたどしく話す。とても早口である。)	3	2	1	0
	ことばにつまったり、発音が不明瞭だったりする。	3	2	1	0
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。	3	2	1	0
読む	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。また、勝手読み、適当読みをする。(「多い」を「おおきい」と読む。「食べそうだった」を「食べそうでした」と読む。)	3	2	1	0
	文中の語句や行を抜かして読んだり、または繰り返して読んだりする。(見落としが多い。)	3	2	1	0
	音読が遅い。	3	2	1	0
書く	読みにくい字を書く。(字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない。マス目から字がはみ出すなど。)	3	2	1	0
	促音や拗音などの特殊音節を書き誤る。(「がっこう」を「がこう」、「せんしゅう」を「せんしょう」と書き誤るなど。)	3	2	1	0
	独特の筆順で書く。	3	2	1	0
	ひらがなや漢字を書くとき、左右が入れ替わったり、細かい部分を書き間違えたりする。	3	2	1	0
	文字を写すことが難しい。(黒板に書いてあることを写すのが困難であるなど。)	3	2	1	0
	作文は限られた量であったり、決まったパターンであったり、筋道が通らなかつたり、内容的にも乏しかつたりする。	3	2	1	0
計算する	位数の大きい数を正しく読むこと、書くことが困難である。	3	2	1	0
	簡単な計算が暗算でできない。	3	2	1	0
	計算をするのにとっても時間がかかる。	3	2	1	0
	文章題を解くのが困難である。	3	2	1	0

発達症特性 (生まれながらの症状) 【学習面】		該当するものに○			
推論する	学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい。(長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということなど。)	3	2	1	0
	学年相応の図形を描くことが難しい。(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図など。)	3	2	1	0
	目的に沿って行動を計画することや、順序立てて課題解決に向かうことが難しい。	3	2	1	0
	早合点や、飛躍した考えをする。	3	2	1	0
運動能力	動作が不器用でぎこちないことがある。(歩く、走る、とび跳ねる、登る、ダンスをするなどで。)	3	2	1	0
	手先がうまく使えない。力の加減が難しい。(はさみを使う、ボタンをかける、ボールをつかむなどで。)	3	2	1	0

発達症特性 (生まれながらの症状) 【行動面】		該当するものに○			
不注意	不注意な間違いをする。	3	2	1	0
	課題または遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。	3	2	1	0
	直接話しかけられたときに聞いてないように見える。	3	2	1	0
多動	よく動く。しばしばしゃべり過ぎたり、はしゃぎ過ぎたりする。(授業中などに離席が見られるなど。)	3	2	1	0
	指示に従えず、課題や任務をやり遂げることが難しい。	3	2	1	0
	しゃべりすぎる。	3	2	1	0
衝動性	ひとつの課題に注意を持続することが難しく、課題を完了できない。	3	2	1	0
	結果を考えたり、予測したりせずに、行動する。	3	2	1	0
	課題や活動に必要なものをなくしてしまう。(物の管理、整理整頓が苦手である。)	3	2	1	0
	質問が終わる前にだしぬけに答え始めてしまう。順番を待つことが難しい。	3	2	1	0
対人関係	含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通りに受け止めてしまうことがある。	3	2	1	0
	周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言う。 (トラブルが多い。)	3	2	1	0
	友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、自分から友達関係をうまく築いていくことが苦手である。	3	2	1	0
	仲間と協力したり、協同作業したりすることが難しい。	3	2	1	0
	会話をしている時に、突然話題が変わることがある。また、会話がちぐはぐになることがある。	3	2	1	0

発達症特性（生まれながらの症状） 【行動面】		該当するものに○			
興味関心の偏り	他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている。	3	2	1	0
	ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある。	3	2	1	0
こだわり	ひとつの活動から次の活動へスムーズに移行できない。	3	2	1	0
	偏食がはげしい。	3	2	1	0
感覚過敏	視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚などの感覚のいずれかにおいて、過敏である。	3	2	1	0

二次的な問題（二次症状、誤学習）		該当するものに○			
行動の問題	対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力（暴言を含む）	3	2	1	0
	器物損壊	3	2	1	0
	授業妨害	3	2	1	0
いじめ	特定の人物に身体的・心理的な攻撃を継続的に加える。	3	2	1	0
不登校	「不安」「学校における人間関係」「無気力」「家庭に係る状況」「学業の不振」などにより欠席が続いている	3	2	1	0
非行	万引き、窃盗など	3	2	1	0
精神症状	統合失調症、不安症（場面緘黙）、気分症（うつ）、双極性症（躁・鬱）、強迫症、PTSD、睡眠障害、摂食障害、インターネットゲーム依存症、適応症など。	3	2	1	0

家庭の問題		該当するものに○			
しつけ	遅刻が多い。よくあくびをしている。	3	2	1	0
	服が汚れている。髪が乱れている。	3	2	1	0
	物がそろわない。	3	2	1	0
愛着の課題	笑顔が見られず、無表情なことが多い。	3	2	1	0
	他の子どもに興味を示さない。交流しようとししない。	3	2	1	0
	ほとんど知らない人に対しても、何のためらいもなく近づく。あるいは、過度に警戒する。（人との距離感）	3	2	1	0
	落ち着きがなく、乱暴である。（多動、自分自身や他人への攻撃性）	3	2	1	0
	強情、わがまま、意地っ張りである。自分のしたことを認めない。（自己防衛）	3	2	1	0
	物を独占したり、大切に扱わず壊したりする。	3	2	1	0
	口に物をよく入れている。（指吸い、えんぴつをかむ等）	3	2	1	0
	前髪やマスクで顔を隠す。フードをかぶる。袖の中に手を入れる。襟の中に首をすぼめる。	3	2	1	0
	大人の注目を引くための、試し行動が見られる。	3	2	1	0
	人の顔色をうかがう。人の視線が気になる。	3	2	1	0
	身体的な成長の遅れが見られる。	3	2	1	0
家庭と学校で見せる姿が大きく違う。（過期待・過干渉・過保護）	3	2	1	0	